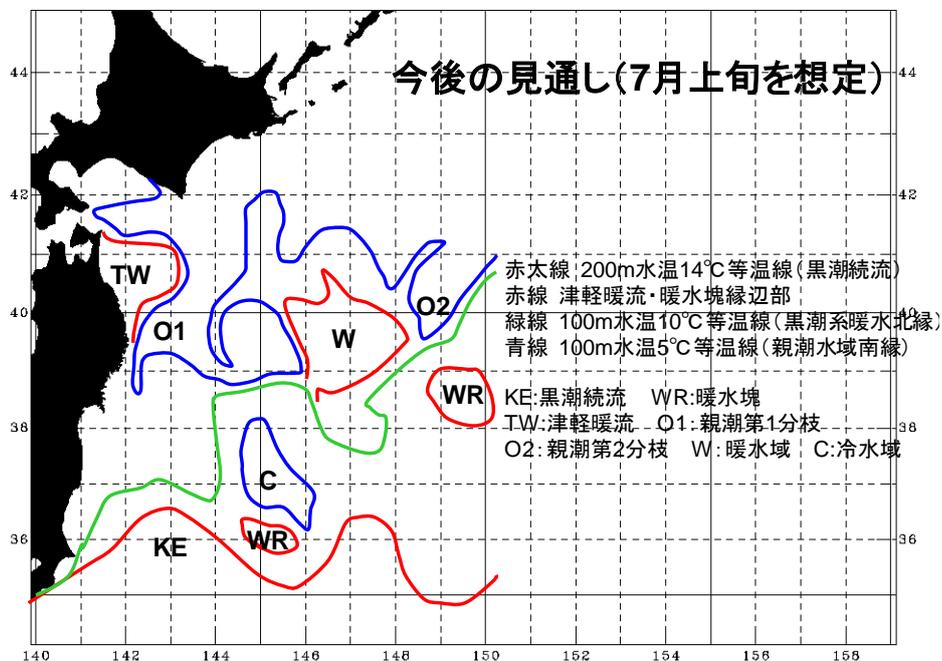


平成26年度 第2回 東北海区海況予報

—別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果—

今後の見通し(平成26年7月~8月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しはやや南偏で推移する。
- ・ 常磐沖に冷水域が形成され、常磐沖の暖水塊は西進し、三陸はるか沖の暖水塊は停滞する。



問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所 業務推進部

担当: 塚本、大迫

電話: 011-822-2131、ファックス: 011-822-3342

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所 業務推進部

電話: 022-365-1191、ファックス: 022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成26年度東北海区海況予報 第2号

《今後の見通し（2014年7月～8月）》 （注）FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置は平年並みで推移し、親潮第1分枝の張り出しはやや南偏で推移する。また、常磐沖に冷水域が形成され、常磐沖の暖水塊は西進し、三陸はるか沖の暖水塊は停滞する。

《海況の経過（2014年4月～2014年5月）の特徴》 （注）FRA-ROMSシステムによる結果

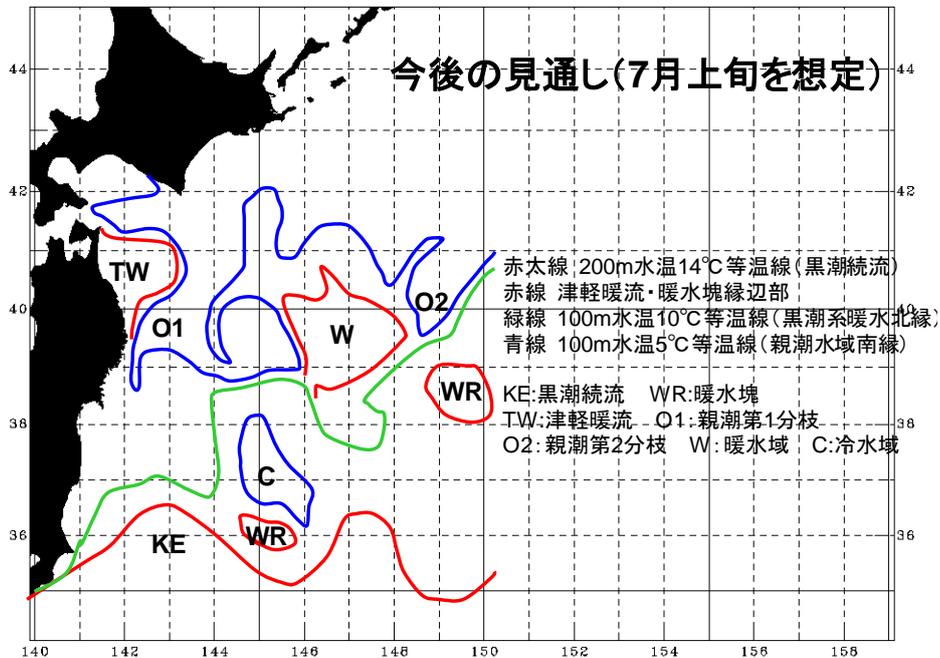
近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏～平年並みで推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移した。

《現況（2014年6月上旬）の特徴》 （注）FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。常磐沖および三陸はるか沖に暖水塊が形成されている。

（注）この海況予報は、独立行政法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いている。

7月上旬予測水温分布図

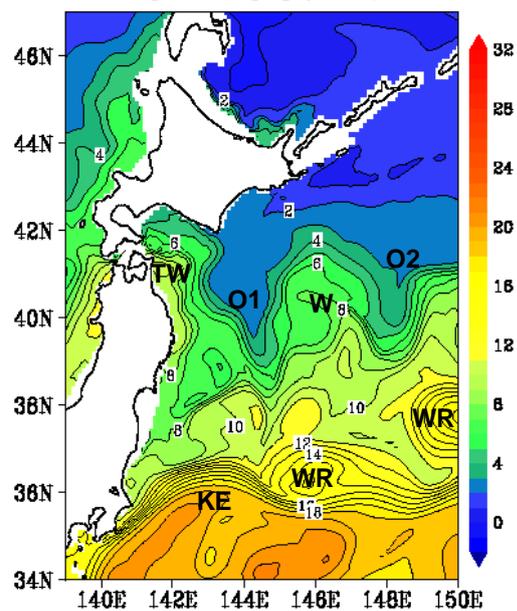


6月上旬現況水温分布図（100m深）

2014/06/06

FRA-ROMS

Temperature[°C] (100m)



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、WRが暖水塊、Wが暖水域、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所</p>
---	---